

国語科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	国語		教科書等	国語表現
科目名	国語表現	教材等	パスポート国語必携 国語常識の演習と確認	
目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。			
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○
	提出物・課題等	○		○
	定期考査等			○
観点の重み (%)	25	25	25	25

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容
第1学期	4	1 書いて伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。 ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 ・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。
	5	3 自己PRと面接	
	6		
	7		
第2学期	9	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> ・面接をうけるにあたっての注意点を学習する。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・筋道を立てて意見を書く。 ・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。
	10	2 小論文・レポート入門	
	11	反論を想定して書く	
	12	4 メディアを駆使する	
第3学期	1	6 会話・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じた会話 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。 ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力しながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 ・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・議論して結論を出す ・プレゼンテーションの工夫 	

国語科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	国語		教科書等	新編 現代文B		
科目名	現代文B	教材等				
目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。					
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	
	提出物・課題等	○	○	○		○
	定期考査等			○	○	○
観点の重み (%)	20	20	20	20	20	

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容
第1学期	4	1 若い人たちへ ・夢を建てる人々	<ul style="list-style-type: none"> 生き生きと働く宮大工の様子や彼らの仕事に対する気概を読み取る。 読み取ったことをふまえて、自分の夢について文章を書く。
	5	2 小説を楽しむ (二) ・待合室 ・おぼろ月	<ul style="list-style-type: none"> 江田先生や山崎さんなど、登場人物の人間像やそれぞれの心情を読み取る。 ストーリー展開の工夫を理解する。 風俗の描写など、時代小説の魅力を味わう。 おさとの心情が何をきっかけにどのように変化したのかを読み取る。 古来日本人がどのような思いで桜を愛でていたのかを読み取る。
	6	3 伝統を受け継ぐ ・ひかりのどけき春の日に——日本人と桜 ・殺し文句は永遠に——恋する伊勢物語” ・和の思想、間の文化	<ul style="list-style-type: none"> 桜を詠んだ詩歌や俳句を集め、発表する。 伊勢物語第六段の内容と、それを筆者がどのように感じているかを読み取る。
	7		<ul style="list-style-type: none"> 日本文化に通底する「和」やそれを支える「間」について、筆者の考えを理解する。
第2学期	9	4 短歌・俳句に親しむ ・短歌 ・俳句	<ul style="list-style-type: none"> 短歌の特色を理解し、鑑賞する態度や方法を学ぶ。 俳句の特色を理解し、俳句を鑑賞する態度・方法を学ぶ。
	10	5 社会に生きる ・幸せの分量 ・鉄を削る	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取る。 読み取ったことをもとに、仕事と人生について考えを深め、文章をまとめる。 旋盤工たちの仕事に対する姿勢や思いを読み取る。 仕事上の技術や智恵、工夫などについて、調べて発表する。
	11	6 名作を読む(二) ・こころ	<ul style="list-style-type: none"> 場面ごとの登場人物の心情とその変化、登場人物の人物像を読み取り、作品の主題を考える。 比喩表現など表現上の工夫を読み取り、その効果を考える。
第3学期	1	7 現代を考える 読書の広場 ・家族化するペット ・星の王子さま ・鉄道員	<ul style="list-style-type: none"> ペットの家族化が示す現代社会の様相について読み取る。 読み取ったことをふまえて、社会の変化に対する自分の考えをまとめる。 読み取ったことをふまえて、読書の意義について自分の意見をまとめる。 登場人物のせりふが象徴する内容について考えを深め、作品の魅力を味わう。 主人公の人物像や情景を、叙述に即してとらえ、ストーリー展開のおもしろさや優れた描写を味わう。
	2		
	3		

地理歴史科 シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	地歴公民	単位数	3	教科書等	新日本史A 新訂版（実教出版）
科目名	日本史A	教材等			
目標	日本近代史を諸資料に基づいて展開し、日本がどのような過程を経て国民国家となり、近現代を歩んでいったのかを学ぶことによって、日本国民としての意識を涵養していく。なお、日本史を学ぶに際して、世界史の中に位置づけることで、国家間で影響を与え合っていることを認識させる。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、授業を休まず、学習目標を達成しようと努力し、主体的に対応できる態度を育てることができる。	わが国の歴史の展開から各時代背景の影響と関連付けて考察し、文化と伝統の特色について認識を深め、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を適切に読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。	日本近現代史の展開についての知識を修得している。	
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	—
	提出物・課題等	○	○	○	—
	定期考査等	—	○	○	○
観点の重み（％）	25	15	15	45	

学期	月	単元内容（単元名）	具体的な学習内容
第1学期	4	第1章 近代国家と社会の形成 第2章 二つの戦争と大日本帝国	第1節 世界と東アジア 1. 東アジア世界の転換 2. 開国 3. ゆれ動く幕末の政治と社会 4. 「御一新」への期待と明治維新 第2節 近代国家の誕生 1. 国境の画定 2. 明治政府の諸改革 3. 自由民権運動のはじまり 4. 自由民権期の社会 5. 大日本帝国憲法 第1節 日清戦争と日露戦争 1. 19世紀末の東アジア 2. 日清戦争 3. 東アジアの変革 4. 日露戦争から韓国併合へ
	5		
	6		
	7		
第2学期	9	第3章 帝国と民主シー 第4章 民主シーの展開と帝国の変容 第5章 アジアの戦争と第二次世界大戦	第1節 大正民主シー 1. 大正民主シーの広がり 2. 第一次世界大戦下の社会 第2節 ヴェルサイユ体制とロシア革命 1. ヴェルサイユとレニングラード 2. 日本の植民地 3. ワシントン体制とアジア 第2節 東アジアの情勢と恐慌 1. 大日本帝国の選択肢 2. 昭和恐慌 第1節 日中15年戦争 1. 満州事変 2. モダン都市と危機の農村 3. 日中戦争 4. 総動員の時代 第2節 アジア太平洋戦争 1. アジア太平洋戦争 2. 戦時下の社会と抵抗 3. 大東亜共栄圏 4. アジアのなかの「敗戦」 5. 敗戦前後の暮らし
	10		
	11		
	12		

第3学期	1	第6章 現代日本の源流	第1節 戦後世界と日本 1. 戦後の世界 2. 日本占領 3. 国民主権と日本国憲法 4. 民主主義とアメリカ化	<ul style="list-style-type: none">• 戦後の国際社会の秩序がどのように作られたのか学習する。• 日本の占領がどのように行われたのか学習する。• 日本国憲法の制定の過程と、その理念を実現するためにどのような改革が行われたのか学習する。• 戦後の民主化の過程で、アメリカがどう関わったのかを学習する。
------	---	-------------	--	--

公 民 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	公民	単位数	3	教科書等	最新 政治・経済
科目名	政治・経済	教材等		ノート・プリント	
目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	授業を休まず学習目標を達成しようと努力でき、主体的に対応できる態度が育ったか。	政治・経済について自分の考え方を主体的に持つことの大切さを自覚しているか。また自ら判断し、表現できるか。	政治・経済に関する諸資料や年表を適切に選択して、効果的に活用している。	政治・経済に対する基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けたか。	
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	—
	提出物・課題等	○	○	○	—
	定期考査等	—	○	○	○
観点の重み (%)	25	20	15	40	

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容	
第1学期	4	現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の成立 民主政治の基本原則 民主政治のしくみと課題 世界のおもな政治制度 	<ul style="list-style-type: none"> 近代民主政治とはどのようにして成立したかが理解できたか。 基本的人権が確立していく中で、自由権から社会権への広がりや法の支配を学ぶ。 国民権と議会制民主主義、権力分立について、歴史的な背景を視野に入れる。 イギリス・アメリカ・中国をモデルにしながら様々な政治体制があることを知る。
	5	日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原則 人権の広がりや公共の福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 明治憲法と日本国憲法の在り方や本旨を理解し、日本国憲法の制定された背景を理解する。 憲法の三大原則を中心に、最高法規性と憲法改正についての硬質な部分を学ぶ。 人権の国際化を学ぶと共に、自由権・社会権・参政権・平等権・請求権・新しい人権など拡大していく人権の背景を学習する。
	6	日本の政治制度と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 政治機構と国会 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 選挙制度 	<ul style="list-style-type: none"> 国会の地位や役割を学習すると共に、国会の構成と権限を理解し、二院制の必要性を学ぶ。 内閣と議院内閣制の特徴を理解し、行政権の拡大化や官僚制との関わりを理解する。 国民の権利としての裁判を前提に、最高裁判所の立場や国民と司法の関係性を追求する。 主権者教育の観点から選挙制度の方法を学びつつ、選挙権の重要性を学ぶ。
	7	現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変化 国際連合と国際協力 冷戦終了後の国際政治 軍拡競争から軍縮へ 	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な人権保障の各台に伴う戦争の違法か進展を学び、国際政治の変化に対応できる力をつける。 国連と集団安全保障の関連性を紐解き、PKO活動などの国際協力を理解する。 地域・民族紛争の拡大に伴う難民問題やテロリズムの拡大の経緯を学び、日本の平和と比較する。 軍縮の現状と課題をあげ、世界で唯一の被爆国として核の廃絶を目指す方法を模索する。
第2学期	9	日本の平和主義と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> 平和主義と自衛隊 日米安全保障体制の変化 21世紀の平和主義 	<ul style="list-style-type: none"> 憲法9条だけでなく、政府の解釈の変化を追求し、今後の日本の平和について考察する。 なぜ日米安全保障条約が締結され今日に至っているのか、今後の課題は何かを考える。 日本が歴史的に抱える問題である自衛隊の海外派遣について考察させ集団的自衛権を理解する。
	10	現代の経済社会	<ul style="list-style-type: none"> 日本の外交と国際社会 経済社会の変容 経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得 金融の役割 日本銀行の役割 	<ul style="list-style-type: none"> 日本のアジア外交の歴史と問題点を学び、日本の果たすべき役割とは何かを考察させる。 資本主義経済と社会主義経済の基本的な変容を学び、市場のグローバル化を理解させる。 経済循環にて市場の働きを理解し、資本主義経済における市場の競争メカニズムを学ぶ。 企業の株式化を学び、めまぐるしく動く企業形態を理解するとともに社会的責任を考える。 国民総生産と国内総生産を理解しつつ、国民総所得から国民所得の算出方法を理解させる。 金融機関のメインである銀行のしくみと、金融の自由化・国際化の流れを理解させる。 中央銀行の役割を理解させ、金融政策による景気のコントロールを学ばせる。
	11	現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> 財政の役割と租税 日本経済の課題 中小企業と農業 社会保障の役割 	<ul style="list-style-type: none"> 税制改革と財政構造改革の二つの改革を中心に日本の未来に直面する問題を明確化させる。 中小企業の現状と今後の問題点を理解するとともに、日本の農業の在り方を学習する。 社会保障制度の歴史と日本の社会保障制度の変化と諸課題をあげ、その解決策を模索する。
	12	現代の国際経済	<ul style="list-style-type: none"> 貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 国際経済の動向 発展途上国の諸問題 経済協力と日本の役割 	<ul style="list-style-type: none"> 自由貿易と保護貿易について理解させ、国際収支を通じて各国の豊かさを比較する。 為替のしくみを理解させ、変動為替相場制の特徴や今後の在り方を考察させる。 国際経済の統合へ向けた動きを理解させ、貿易の自由化にむけての諸課題をみつける。 南北問題の存在を理解させ、南南問題、累積債務問題など他国の現状を理解させる。 途上国に対する開発や援助の重要性を学び、日本のODAを中心とした責任と課題を学ぶ。
第3学期	1	現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> 産業構造の変化と中小企業 少子高齢社会と社会保障 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの新しい企業ができていく今日の中小企業で、働くことの難しさと自ら積極的に仕事に対する情熱をむける競争性を理解させ、変化する社会に対応できる力を身につけさせる。 日本の超少子高齢化問題を理解させ、その課題と解決策を自分たちで考えまとめさせる。
	2			
	3			

数 学 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	数学	単位数	3	教科書等	改訂版 最新 数学A (数研出版)
科目名	数学A	教材等			
目標	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	学習状況の観察	○	○	—	—
	提出物・課題等	○	○	—	—
	定期考査等	—	—	○	○
観点の重み (%)	20	20	30	30	

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容			
第1学期	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 集合の要素の個数、場合の数 順列 組合せ	集合の要素の個数 倍数の個数、樹形図 和の法則、積の法則 順列の総数 順列の考え方の利用 円順列・重複順列 組合せの総数、 nCr の性質 組合せの考え方の利用 組分けの総数	<ul style="list-style-type: none"> ・和集合や補集合について理解する。 ・ベン図を利用する。 ・樹形図、和の法則、積の法則の利用場面を理解しており、事象に応じて使い分ける。 		
	5				第2節 確率 事象と確率 確率の基本性質	順列の総数、階乗を記号で表す。 順列、円順列、重複順列の公式を理解し、活用する。 組合せの総数を記号で表したり、公式を利用する。 組分けの総数を求める。 同じものを含む順列を求める。 試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考える。 確率の性質を一般的に考察する。 確率の定義から、その求め方を理解する。 確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率も求める。
	6					
	7	独立な試行と確率 条件付き確率	独立な試行の確率 反復試行の確率、条件付き確率、確率の乗法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の確率を求める。 ・反復試行の確率を求める。 ・条件付き確率や確率の乗法定理の考え方に興味関心をもち、積極的に活用する。 		
第2学期	9	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 三角形の辺の比、三角形の外心・内心・重心、チェバの定理・メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円 第2節 空間図形 直線と平面 空間図形と多面体	線分の比と三角形の角の二等分線、三角形の外心・内心・重心、チェバの定理 メネラウスの定理 円の弧と弦の性質 円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線、円の接線と弦の作る角、方べきの定理 2つの円の位置関係・共通接線 2直線の位置関係 直線と平面の位置関係 2平面の位置関係、多面体、オイラーの多面体定理	<ul style="list-style-type: none"> ・線分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解する。 ・定理を適切に利用して、線分の比や長さを求める。 ・三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解する。 ・円の基本的な性質を理解している。 ・円周角の定理を理解している。 ・円に内接する四角形の性質を利用する。 ・円と直線の位置関係を考察する。 ・円の接線に関する性質を利用する。 ・方べきの定理を理解する。 ・空間における2直線の位置関係やなす角を理解する。 ・空間における直線と平面の位置関係を考察する。 ・正多面体の特徴を理解する。 		
	10					
	11					
	12					
第3学期	1	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 約数と倍数、最大公約数・最小公倍数の性質、整数の割り算と商・余り 第2節 ユークリッドの互除法 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 第3節 整数の性質の活用 分数と小数 n進法	約数と倍数、倍数判定法 素因数分解、最大公約数・最小公倍数、互いに素 整数の割り算における商と余り、余りによる整数の分類 ユークリッドの互除法 $ax+by=1$ の整数解 分数と有限小数、循環小数 数の割り算の仕組み 有限小数で表される分数 n進法、底の変換 n進法の小数	<ul style="list-style-type: none"> ・約数、倍数の意味を理解する。 ・倍数判定法を理解する。 ・自然数の素因数分解を求める。 ・最大公約数、最小公倍数を求める。 ・2つの整数が互いに素であるかどうかを判別する。 ・割り算を等式としてとらえる。 ・整数を余りで分類する。 ・ユークリッドの互除法を活用する。 ・1次不定方程式を解く。 ・分数を循環小数で表す。 ・10進法、2進法について理解す。 ・n進法の数を10進法で表す。 		
	2					
	3					

理 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	理科	単位数	3	教科書等	物理基礎（啓林館）
科目名	物理基礎	教材等			
目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した答えを的確に表現できる。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	—
	提出物・課題等	—	○	○	—
	定期考査等	—	○	○	○
観点の重み (%)	30	20	20	30	

学期	月	単元内容（単元名）	具体的な学習内容	
第1学期	4	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動	速さと速度 加速度 落下する物体の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の変位や速度を理解し、物体の運動を考える。 ・物体の運動を測定し、$x-t$グラフや$v-t$グラフで表す。 ・物体の変位や速度などを理解する。 ・等速直線運動を理解する。 ・物体の加速度を考え、等加速度直線運動の$x-t$グラフや$v-t$グラフを考える。 ・物体の加速度や等加速度直線運動を理解する。 ・落体の運動の考え、理解する。 ・落体の運動の様子を調べ、$x-t$グラフや$v-t$グラフに表す。
	5			
	6			
	7			
第2学期	9	第2章 力と運動	力 運動の法則 運動の方程式 圧力と浮力	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動に興味をもち、力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べる。 ・平面内の力のつり合いを考え、合力・分力を考える。 ・重力と垂直抗力など、作用・反作用の関係を具体的な物体にはたらく力としてとらえ、考える。 ・物体にはたらく力を表し、合力・分力を描く。 ・力のつり合いを調べ、弾性力や作用・反作用を力学的な法則を使って分析する。 ・力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し、グラフを作成して運動方程式を考える。 ・物体の質量や物体にはたらく力を変えて物体の運動を調べ、運動の様子をグラフに表す。 ・運動の三法則を理解する。 ・物理量の表し方や単位、次元を理解する。 ・力のつり合いや運動方程式から、物体の運動を考える。 ・圧力と浮力の性質について考える。
	10			
	11			
	12			
第3学期	1	第3章 仕事とエネルギー	仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が力学的にどのような意味をもつかを理解し、仕事率を計算して、力学的エネルギーとはどのようなものか調べる。 ・仕事、仕事の原理、仕事率という基本的な概念から、力学的な仕事を計算する。

保健体育科 シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	保健体育	単位数	3	教科書等	最新高等保健体育 改訂版
科目名	体育(3学年I類)	教材等		最新高等保健体育ノート 改訂版	
目標	運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めると共に技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	出席を常とし遅刻をせず、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を持ち、健康安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	自己や仲間の課題や状況に応じて、運動を継続するための計画を工夫している。	各領域の運動の特性に応じて、自己の技能を発揮している。	体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、健康安全の確保、豊かなスポーツライフの仕方などを理解する。	
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	提出物・課題等	○	○	○	○
	定期考査等	-	-	-	○
観点の重み(%)	70	10	10	10	

学期	月	単元内容(単元名)	具体的な学習内容
第1学期	4	オリエンテーション 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・社会におけるスポーツの役割を考えて見る。
	5	体づくり運動・集団行動・体操 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの見方・考え方 ・準備運動としてラジオ体操を習得し、怪我の予防に努める。
	6	選択(球技: ネット型・ゴール型) バドミントン・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフステージに対応したスポーツを楽しむ。
	7	体育理論 選択(球技: ネット型・ゴール型) 卓球・フットサル・バスケットボール・バレーボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・自分のスポーツライフスタイルを見つける
第2学期	9	体育理論 ダンス(フォークダンス)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスポーツライフを設計する。
	10	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・【ダンス】 ・ダンスに主体的に取り組み、踊り方の特徴を協調して、音楽に合わせて仲間と対応して踊ることが出来るようにする。 ・日本のスポーツ振興を理解する。
	11	体育理論 陸上競技(中・長距離)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のスポーツ振興 ・地域とスポーツの関わりを考える。
	12	選択(球技: ネット型・ゴール型・ベースボール型) ソフトボール・サッカー・バスケットボール・バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・【陸上競技】 ・自己の能力に応じて、記録の向上や競争の楽しさ喜びを味わい、技能を高めることが出来るようにする。
第3学期	1	選択課題学習 バスケットボール バレーボール サッカー バドミントン 鉄棒	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題学習】 ・設定された各種目の課題に対して自己の能力を発揮し、努力を持って克服する。

英 語 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	外国語科	単位数	3	教科書等	Viva! English Communication III
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	教材等			ワークブック・ファイル
目標	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をするとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨	出席を常とし、態度が前向きで、日頃からノートを良く整理し、学習目標を達成するための努力ができ、コミュニケーションを図る積極的な態度が身についている。	ワークシートなどの課題をきちんと完成・提出し、学習内容を英語で表現する能力を身に付け、結果的に応用力を高める努力ができています。		授業内容を理解し、言語活動に意欲的に取り組みながら、意見や考えを述べるための基礎力を習得し、結果的に応用力を高める努力ができています。	授業の復習を欠かさず、新出事項や文法事項を理解して運用することができ、また、学習内容に付随する異文化や風習を理解している。
評価方法	学習状況の観察	○	—	○	—
	提出物・課題等	—	○	—	○
	定期考査等	—	○	○	○
観点の重み (%)	25	25		25	25

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容	
第1学期	4	Lesson 1 Sara Is Flying Far!	<ul style="list-style-type: none"> ・、高梨沙羅選手の活躍について読み、限界に挑戦する意気込みを学ぶ。 ・最上級の意味を表す比較表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・女子スキージャンプ、高梨沙羅選手の活躍について読み、時間軸に沿って内容を整理することができる。 ・指示された英文の内容を言い換えている英文を見つけ出すことができる。
	5	Lesson 2 Proverbs in English and Japanese	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語のことわざを比べ、その文化的背景について考える。 ・命令文 + and / or 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語のことわざで扱われる語句や表現を比較し、外国の文化と自国の文化の違いについて考えることができる。 ・日本語のことわざを一つ取り上げ、英語でどのように言うか調べる。
	6	Lesson 3 Dogs Can't Stand That	<ul style="list-style-type: none"> ・犬が実はいやがっていることを紹介するポスターを見て、ペットとの暮らしについて考える。 ・助動詞を文の受動態 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを見て、言葉を持たない犬たちが考えていることについて想像しようとする。 ・飼い主と犬との様子で思いつくものを書き出し、それが犬にとって本当にうれしいことなのかどうかを話し合う。
		Lesson 4 Where Is Our Hotel?	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けの地図記号に関する英文を読み、外国人へのおもてなしと地図記号に見る文化と歴史を考える。 ・to-不定詞の副詞用法 (形容詞が示す範囲を限定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文や地図記号から、時代の移り変わりとともに地図記号が変容してきたことを読み取ることができる。 ・「あったら便利だな」と思う地図記号を作成し、英語で説明する。
	7	Lesson 5 The Fox and the Grapes	<ul style="list-style-type: none"> ・『イソップ物語』がもとになった慣用句を題材に、寓話から生まれた英語表現を理解する。 ・関係代名詞 what 	<ul style="list-style-type: none"> ・イソップ物語の一つ『キツネとぶどう』がもとになっている慣用表現の意味を正確に読み取ることができる。 ・物語に由来する熟語を探し、英語で発表する。
第2学期	9	Lesson 6 "Donail"- to Protect Endangered Animals	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅のおそれのある野生生物の保護を手助けするキャンペーンから、野生生物の危機や環境問題について考える。 ・have + 0 + 過去分詞 (使役・被害) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種の保護のために行われたキャンペーンについて読み、概要や要点をとらえることができる。 ・「レッドリスト」にあげられている野生生物についてグループごとに調べ、絶滅危惧種の保護や環境保護について自分たちができることについて考え、英語でまとめることができる。
		Lesson 7 Can AI Go Beyond Humans?	<ul style="list-style-type: none"> ・最強の囲碁棋士を打ち負かしたソフトウェアに関する記事を読み、人工知能との共存可能な社会について考える。 ・関係副詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・最強の囲碁棋士を打ち負かしたソフトウェアに関する記事について、強調している語句に注目して読むことができる。 ・英語記事から読み取れたことを発表する。
	10	Lesson 8 Happy Halloween in Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地で大きな盛り上がりを見せるハロウィンの文化から、外国の文化がもたらす影響について考える。 ・知覚動詞 + 0 + 動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンに関する記事を読み、問題点と解決策についてまとめることができる。 ・日本と外国のハロウィンの違いについて調べて発表する。
		Lesson 9 Cool Passports	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポートの偽造を防ぐ各国の工夫から、各国のアイデンティティを理解する。 ・関係代名詞の非制限用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、フィンランド、カナダのパスポートの特徴を読み取り、比較することができる。 ・世界のパスポートを調べ、気になったパスポートについて発表する。
	11	Lesson 10 "I Will Think about It."	<ul style="list-style-type: none"> ・「検討します」という返答について、日本と外国での考え方の違いを理解する。 ・S + V + 0(=it) + C + to-不定詞 (形式目的語) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「検討します」という答え方について、外国と日本での印象の違いを読み取り、誤解を招く表現であることを理解することができる。 ・英語の会話文を通して、ペアで「NO」と答える練習をする。
	Lesson 11 Welcome to Space Hotel!	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇宙ホテル」計画から、宇宙開発について想像する。 ・前置詞とto-不定詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇宙ホテル」計画についての英文を読み、その形状や特徴を理解することができる。 ・宇宙ホテルに必要な設備を想像し、グループで話し合う。 	
	12	Lesson 12 Nagako Aquarium	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が運営する「長高水族館」の記事を読み、地域への貢献活動について考える。 ・省略される表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・「長浜水族館」が「長高水族館」になった経緯を詳細に理解することができる。 ・神栖市で高校生として研究したいことをグループで話し合い、発表する。
第3学期	1	Lesson 13 A Young Man Who Built a Village	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンジュラスの人々を助けるための団体を立ち上げた藤山氏の記事を読み、信念を持って他人のために行動することの大切さに気付く。 ・使役動詞 + 0 + 動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> ・日系アメリカ人の藤山氏の活動について読み、その活動と目的を明確に理解することができる。 ・ホンジュラスのように日本にあまりなじみのない国について調べ、その国の課題解決のための取り組みについてまとめ、発表する。

商 業 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	商 業	単位数	3	教科書等	情報処理 新訂版 (実教出版)
科目名	情報処理	教材等		ファイル、ノート、情報処理模擬問題集3級 他	
目 標	ビジネス実務に関する知識と技術を習得させ、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や業務の合理化の重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを旨として主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。	
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	提出物・課題等	—	○	○	○
	定期考査等	—	○	○	○
観点の重み (%)	25%	20%	30%	25%	

20

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容	
第1学期	4	1章 情報の活用と情報モラル 1節 ビジネスと情報 2節 情報モラル 3節 ハードウェアとソフトウェア	1. 情報の意義と役割 2. ビジネスとコンピュータ 3. 情報システム 1. 法規とモラル 2. モラルとマナー 1. ハードウェア 2. ソフトウェア	① 日常生活やビジネスの諸活動における情報活用の重要性と、情報を正しく活用するための基本的な知識について学習する。 ② 情報化社会に参画するために必要な法規やルールなど、個人が身につけるべき情報モラルについて学習する。 ③ コンピュータのしくみと、ハードウェアとソフトウェアの役割について学習する。
	5	3章 ビジネス情報の処理と分析(1) 1節 基本的な表の作成 2節 関数を利用した表の作成 3節 グラフの作成 ◆ 1学期期末考査	1. 表計算ソフトの利用 2. データの入力と計算式 1. 基本的な関数 2. よく使う関数 1. 種類と概要 2. 基本的なグラフの作成	① ビジネスにおける表計算ソフトウェアの活用方法や特徴、基本操作について学習する。 ② 関数の特徴や、表の作成方法について学習する。 ③ 表のデータを視覚的に理解しやすくするため、様々なグラフの特徴や作成方法について学習する。 ・ 実技試験・筆記試験を実施する。
	6	2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理 1節 情報通信ネットワークの概要 2節 ビジネス情報の検索と収集 4節 セキュリティ管理の基礎	1. 役割と構成 2. インターネットのしくみ 1. ウェブページの検索 2. ウェブページの活用 1. セキュリティの管理	④ 情報通信ネットワークの役割やしくみと、ビジネスにおける利用方法や効果について学習する。 ⑤ ウェブページからビジネスに関する情報を検索および収集、活用する方法について学習する。 ⑥ インターネットを利用するために必要なセキュリティ管理の方法について学習する。
第2学期	9	◆ 検定試験に向けて ・実技試験対策 ・筆記試験対策 3章 ビジネス情報の処理と分析(2)	1. ビジネス情報部門 実技・筆記試験傾向と対策 1. その他の関数の利用 1. データの整列 2. データの検索と抽出	① 模擬試験問題、検定試験問題(過去)を反復練習する。 ② 情報処理 ビジネス部門2級範囲を演習する。 ③ 表計算ソフトウェアのデータベース機能を利用し、表のデータにおける整列や検索、抽出について学習する。
	10	2節 表の作成 4節 情報の整列・検索・抽出 4章 ビジネス文書の作成 4節 応用文書の作成 ◆ 2学期期末考査	1. 表計算を含んだ文書 2. グラフを含んだ文書	④ さまざまな機能を利用して、表やグラフなどを含む表現力の豊かな応用的な文書の作成に関する知識と技術について学習する。 ・ 実技試験・筆記試験を実施する。
	11	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法	1. プレゼンテーションの意義と必要性 2. プレゼンテーションの基礎 3. 調べ学習(情報の収集) 4. パワーポイントソフトの利用	⑤ プレゼンテーションの重要性や、基礎的な知識と技術について学習する。
第3学期	1	2節 ビジネスとプレゼンテーション ◆ 学年末考査	1. プレゼンテーション演習 2. 評価	① プレゼンテーションソフトウェアを活用した資料作成方法や、効果的なプレゼンテーション技法について学習する。 ・ 筆記試験を実施する。

国 語 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	国語		教科書等	古典A（三省堂）	
科目名	国語科（学校設定科目 古典A）	教材等			
目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度			読む能力	知識・理解
観点の趣旨	授業に意欲的に臨みながら、言語文化に対する関心を深め、言語能力の向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取り、自分の考えを深められることができる。	言葉の特徴やきまり、古典について理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察	○		○	
	提出物・課題等	○			○
	定期考査等			○	○
観点の重み（%）	30			40	30

学期	月	単元内容（単元名）	具体的な学習内容
第1学期	4	漢字能力検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字能力検定3級の合格を目指す。 ●漢検漢字学習トレーニングを活用する。 ●漢字の読み書き部首四字熟語などを理解することができる。
	5	漢文編 朝三暮四 塞翁が馬 古文編 蜂飼いの大臣（古事談） 観音になった男（宇治拾遺物語）	
	6		
	7		
第2学期	9	呪いを知らせた犬（宇治拾遺物語） 絵師と大工（今昔物語集）	<ul style="list-style-type: none"> ●安倍晴明をめぐる事件の推移の描かれ方に関心を持つようとしている。 ●古文の文章の音読によって、物語の展開や人物の躍動感を生き生きと伝えることができる ●登場人物の二人の関係や技を競い合っていたときの気持ち、お互いに相手をどう思っていたのかを読み取り、簡潔にまとめることができる。 ●天地崩落を憂う人が心配する宇宙の様子をイメージすることができる。 ●「杞憂」を用いて例文を作ったり、他の故事成語について考え、使用したりすることができる。 ●重要語句や使役・反語・受身・疑問・抑揚などの句型を理解する。 ●場面ごとに登場人物・構成・展開に即してあら筋を的確に把握する。
	10	漢文編 杞憂	
	11	論語（孔子の人となり・孔子と政治）	
	12		
第3学期	1	古文編 相撲の勝負（古今著聞集）	<ul style="list-style-type: none"> ●弘光の涙と出家の意味や鳥羽院の不快感の理由を考えようとしている。 ●二人の力士の様子や態度の描写を抜き出すことができる。
	2		
	3		

芸術音楽科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	学校設定科目	単位数	2	教科書等	バイエルピアノ教則本
科目名	音楽実技	教材等		コールユーブンゲン、ピアノ	
目標	進学・就職に必要な基本的な音楽理論と楽譜を正確に速く読み取る、または再現する能力を身に付ける。				
評価の観点	授業への関心・意欲・態度	芸術的な感性や表現の工夫		視唱・ピアノの技能	知識・理解
観点の趣旨	音楽活動・学習に関心を持ち、主体的、意欲的に音楽活動・学習に取り組んでいる。	音楽活動・学習に関心を持ち、主体的、意欲的に音楽活動・学習に取り組んでいる。		創意工夫を生かした音楽表現をするため、また瞬時の演奏に柔軟に対応するための技能を身に付けている。	楽譜を読む、または再現するために必要な知識を通して音楽に対する理解を深める。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	提出物・課題等	○	—	—	○
	実技試験	—	○	○	—
観点の重み (%)	30	20		30	20

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容
第1～3学期	4	○視唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視唱課題を通して楽譜の読解力と再現力を高める。 ・ 演奏に必要なとなる基本的な楽典知識を身に付ける。 ・ 習熟度別に与えられる課題を練習し、レッスンを受ける。 ・ 人前で演奏することを想定し、童謡やポップス等の弾き歌いができるようにする。
		○楽典	
		○ピアノ演奏	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ コールユーブンゲン ・ ソルフェージュ ・ 音名 ・ 音価 ・ 音程 ・ バイエルピアノ教則本 ・ 音色、リズム、強弱、フレーズ ・ 童謡、ポップスの弾き歌い 	

英 語 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教科名	外国語科	単位数	2	教科書等	英語総合問題集 TRESURE HUNT O
科目名	実用英語	教材等		ファイル・英和辞典	
目標	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をするとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	出席を常とし、態度が前向きで、日頃からノートを良く整理し、学習目標を達成するための努力ができ、コミュニケーションを図る積極的な態度である。	ワークシートなどの課題をきちんと完成・提出し、学習内容を英語で表現する能力を身に付け、結果的に応用力を高める努力ができてい	授業内容を理解し、言語活動に意欲的に取り組みながら、意見や考えを述べるための基礎力を習得し、結果的に応用力を高める努力ができてい	授業の復習を欠かさず、新出事項や文法事項を理解して運用することができ、また、学習内容に付随する異文化や風習を理解してい	
評価方法	学習状況の観察	○	—	○	—
	提出物・課題等	—	○	—	○
	定期考査等	—	○	○	○
観点の重み (%)	25	25	25	25	

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容
第1学期	4	UNIT 1 ・物語 (登場人物) ・英文の基本	・英文の読み方で登場人物を追う。 ・英文の基本構造を理解した上で、内容を読み取る。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
	5	UNIT 2 ・数学 ・図の説明 ・時制	・図やイラストの説明を正確に読み取る。 ・時制の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
		UNIT 3 ・物語 ・人称代名詞 ・現在完了形	・人称代名詞が指す人物を正しく理解する。 ・現在完了形の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
	6	UNIT 4 ・文化 ・論理展開 ・助動詞①	・論理展開や構造を示す表現に注意する。 ・助動詞の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
		UNIT 5 ・動物 ・段落の1文目 ・助動詞②	・段落の1文目に注意する。 ・助動詞の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
	7	UNIT 6 ・社会 ・物語の展開 ・受動態	・物語の展開をつかむ。 ・受動態の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
第2学期	9	UNIT 7 ・人物 ・接続詞 ・不定詞①	・原因と結果を表す接続詞に注意する。 ・不定詞の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
	10	UNIT 8 ・歴史 ・時代を残す言葉 ・不定詞②	・時代を表す言葉に注意する。 ・不定詞の考え方を理解し、正しく運用できる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
	11	UNIT 9 ・社会 ・省略 ・動名詞	・省略されている箇所の意味を正確に読み取る。 ・動名詞の使い方を理解し、正しく運用することができる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
		UNIT 10 ・自然 ・代名詞 ・分詞	・代名詞が指す内容をしっかり把握する。 ・分詞の使い方を理解し、正しく運用することができる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
	12	UNIT 11 ・動物 ・トピックセンテンス ・比較	・トピックセンテンスを見抜く。 ・比較の使い方を理解し、正しく運用することができる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。
第3学期	1	UNIT 12 ・物語 ・時間の経過 ・関係代名詞	・時間の経過を意識する。 ・関係代名詞の使い方を理解し、正しく運用することができる。 ・積極的な態度で言語活動ができる。

家庭科 シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	家庭科	単位数	2	教科書等	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)
科目名	生活科学Ⅱ	教材等		楽しく学べるマナーの基本	(教育図書)
目標	食物調理や裁縫に関する基礎的知識と技術、効率よく考え創造力を育て、生活的自立の向上を図る。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨	日常生活に対応できる基礎的な調理や裁縫に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	日常生活における基礎的な知識をもとにより良い生活、実習における効率や応用力、思考、判断、創意・工夫する能力を身に付けている。		調理や裁縫の基礎知識を土台とし技能に生かすことができる。	調理や裁縫に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	提出物・課題等	○	○	○	○
	定期考査等	—	—	—	○
観点の重み (%)	15	15		30	40

学期	月	単元内容 (単元名)	具体的な学習内容	
第1学期	4	オリエンテーション	どのような学習活動をしていくのかを把握させる。	
	5	食事のマナー	日本料理 フランス料理 中国料理	改まった食事の場ではどのように振る舞えばよいのか知識を身に付ける。 (料理の種類でそれぞれのマナーがあることを知識として身に付ける。
		調理実習 調理基礎	調理器具の名称 切り方 ①きゅうりの半月切り	調理に関する基礎知識や技術、調理の効率力を身に付けさせる。(調理技術検定3・4級) きゅうりを使った一品をつくる (例 ハム・炒り卵・ツナなどをロールパンに挟む)
		7	②豆腐白玉	絹ごし豆腐を使用する事により、栄養価も高く滑らかな白玉ができる。 幼児や高齢者に与える時は、喉に詰まらせない大きさや形に注意する。
		③梅シロップ	正しい計量ができる。	
第2学期	9	被服実習 コミュニティバッグ製作 ぬいぐるみ製作	手縫い・ミシンの基礎	基礎的な縫い方の技法やミシンの使用方法を習得させる。 に仕上げる。
	10	問題演習	調理における基礎知識	調理技術検定実技試験の基準をもとに、正しい調理の基本が身につく日常生活での実践力を習得させる。
	11	調理実習 (1～3回)	和食 中華 洋食	各種の調理について、班で協力し効率よく調理ができる。
	12	人生の節目のしきたり	贈り物のマナー 冠婚葬祭のマナー	一般的な冠婚葬祭に関する基礎知識を身に付ける。
第3学期	1	調理実習 (1～2回) 日本の年中行事	製菓 自由献立	製菓における基礎知識・技術を習得させる。 今までの知識技術を生かし各班で献立を考える。 一年を通しての年中行事を知る

商業科 シラバス

茨城県立神栖高等学校

教科名	商業	単位数	2	教科書等	パーフェクトガイド情報（実教出版）
科目名	学校設定科目：表計算演習	教材等		ノート、電卓、問題集他	
目標	ワード・エクセル・パワーポイントなどのアプリケーションソフトを活用して、Windowsの基本的知識を身につける。また、売買に関する基礎的な知識と技術を習得することで、ビジネスの諸活動において役立てられる能力と技術を身につける。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータや機器の操作に興味を持ち、自ら意欲的に授業・実習に取り組んでいる。 ・情報社会に積極的に参画しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して基礎的・基本的な知識と技術をもとにし、適切に判断し、表現・発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な技術を身につけ、文書や表・グラフ、各種の計算を適切・正確に処理・活用することができる。 ・目的に応じた情報の表現が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションソフトの機能と取り扱い、機器の効果的な操作を理解している。 	
評価方法	学習状況の観察	○	—	○	—
	提出物・課題等	○	—	○	—
	定期考査等	—	○	—	○
観点の重み (%)	25	25	25	25	

学期	月	単元内容（単元名）	具体的な学習内容	
第1学期	4	1. 売買に関する計算 (1) 四則計算、伝票算 (2) 割合に関する計算 売買・損益に関する計算 (3) 利息の計算 ◆ 珠算電卓検定 2. 表計算ソフトの活用 (表計算に関する知識) ビジネス情報部門検定 (1) 実技試験	1. 普通計算 ・乗算 ・除算 ・見取算 ・伝票算 2. ビジネス計算 ・度量衡 ・外国為替 ・割合 ・割増、割引 ・仕入原価 ・販売価格 ・売買損益 ・利息 3. 検定試験対策	①ビジネス計算の基礎的・基本的な知識を身に付け、その手順や計算を理解する。 ②各種の計算を的確に処理できるようにする。 ③各種の計算方法を理解する。 ④珠算電卓実務検定2級合格をめざす。
	5			
	6			
	7			
第2学期	9	(2) 筆記試験 ◆ 情報処理検定 3. 基本文書の作成 (ワードに関する知識) ビジネス文書検定 (1) 速度入力 (2) 通信文書 ◆ ビジネス文書検定 ◆ 珠算電卓検定 4. パワーポイントの活用 (1) テーマ、情報の収集 (2) シートの作成 (3) レポートの作成	4. 検定試験対策 1. コンピュータの用語、基本操作を理解する。 2. ソフトウェア (Word) の基本操作を習得する。 3. 表の挿入・クリップアートの挿入 4. 検定試験対策 (速度・通信文書の作成)	④模擬試験問題、検定試験問題（過去）を反復練習する。 ①文字の書式設定の変更や罫線を作成する方法を理解する。 ②目的に応じた文書になるように自ら考え、適切に判断し、表現する。 ③文書を指示されたとおりに作成する方法を正しく理解する。 ④ページ設定・文章の入力・文書の保存・文書の印刷の操作を理解する。 ⑤模擬試験問題、検定試験問題（過去）を反復練習する。
	10			
	11			
	12			
第3学期	1	(3)発表する	5. プレゼンテーションを行う。	⑤レポートの体裁を目的に応じて整えられるようにする。
	2			
	3			